鹿ノ台中央通りツツジの補植　　ECOKA委員会（鹿ノ台自治連合会）

概要:　鹿ノ台中央通り植樹帯のツツジは、鹿ノ台地区のランドマークでその刈り込み樹形（かまぼこ型）と春のツツジの開花は地域住民の誇りである。
伊藤忠不動産（株）が開発した当地区は、公共施設の生駒市帰属に先立ち「イトーピア団地サービス」がその管理を行ってきた。
居住人口が開発計画の70％に達した時点でこれらの公共施設は生駒市に移管した。当然にツツジの刈り込み樹形や補植は生駒市の管理となった。
しかしながら、近年その維持管理において整合性のある継続管理に不都合が散見されてきた。今般、既存の植樹帯と整合性のある連続した街区道路の沿道景観づくりとして、ECOKA委員会でヒラドツツジ枯損木跡に80本の補植作業（赤、白、紫、ピンク）を実施した。
一連の作業工程を写真に記録し、以下要約を付記して報告書にする。

作業実施日:平成28年3月15日,17日　　実施団体:ECOKA委員会

3月11日　荷受け作業　日陰のある緑地に仮置きヒラドツツジ（赤、ピンク、紫、白）80本　　バーク肥料　10袋

着手前（中央公園前付近）　穴掘り　バーク混入　植え込み　補植完成

着手前（R163から中央通り入口付近）